

令和7年度第1回森町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和7年6月18日(月) 14:30～

場 所 森町公民館 中会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

1. 開 会

2. 会長挨拶

- ・長瀬副町長より挨拶。

※森町地域公共交通会議設置要綱（以下、要綱という。）第5条第2項により、会長は森町副町長が務める。

3. 報告事項

① 利用状況集計報告について

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 私は路線沿線に住んでいるおり、駒ヶ岳赤井川線は完全に定着したように感じている。4月から一部路線変更となったが利用状況に変化は生じているか。

【事務局】 3月と4月と比較して大きな差がないことから、影響はほとんどないと思われる。一方で、季節の変わり目でもあるため、利用状況を注視して検証を進める。

【伊藤委員】 運行ルートから離れた地域からのニーズもあるのではないか、と思っている。今後の課題として、重要な視点と思われる。

【事務局】 今後の検討材料として、必要性も含めて整理し、地域交通の確保を進めていきたいと思う。

4. 議 事

① 地域公共交通計画認定申請について

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 申請内容に砂原線が含まれていないが、問題ないか。

【事務局】 実証運行は補助対象外であるため、今回の資料には記載していない。一方で、R8.4月から補助を適用できるように今後の会議でお諮りする予定である。

【伊藤委員】 為国先生にお聞きしたいが、高齢者の人口は増えているように感じおり、増加する高齢者に対して、どのように移動の足を確保すべきか。

【為国先生】 まず、総人口の減少により、高齢化率は増えているように見えるが、実数自体は減少傾向にあり、全国的な傾向となっている。

高齢者をはじめとして生活の足を確保することが重要であるため、国の補助等を受けながら持続可能な地域交通とすることが望ましい。

- ・本会議をもって、当該議案について承認

②森町地域公共交通計画の変更について

- ・ 別途資料により説明

【深川委員】 以前、質問させていただいたが、もりっくるの停留所の距離が近すぎる箇所が散見されるため、取組として実施してはいかがか。

【事務局】 運転手等にお聞きして検証を進めた結果、利用者の方には、現状の設置箇所が利用しやすい、という実態が見えてきたため、現状維持という整理させていただいた。

【岡田委員】 停留所が細かく設置されていることは、高齢者にとっては大変ありがたいと思うので、今後も継続して配慮いただきたい。

【事務局】 今後も継続して、きめ細かいサービスの提供に努めたい。

- ・本会議をもって、当該議案について承認

③NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏 総括

- ・ 運転手と利用者のニーズが異なるため、停留所の距離をどうするかは非常に難しい問題である
- ・ フィーダー補助の基準が2.0人以上となっているが、もりっくるは基準を十分に満たしている状況
- ・ 市街地間の利用者数はもう少し増えてほしいと思っている
- ・ JRや函館バスと接続はしているが、乗り継ぎをしての利用は少ない状況と思われる
- ・ 今後は、町外の生活圏への移動のしやすさについても、検討を進めていくことが重要である
- ・ また、もりっくる以外への地域交通の影響、持続可能性等、森町全体の地域交通網を考えることも重要である

4. その他

【伊藤委員】 スーパーに、よくタクシーが停まっている光景をみるが、タクシーの利用者数はどうか。

【中澤委員】 人口減少ということもあり、絶対数は減少傾向にある。また、砂原線は、もりっくるに移行してから土日祝日の運行がないため、外出を控えられているようで、連動してタクシーの土日祝日の利用も合わせて減少している。

人口減少により利用者の母数が減少することから、住民だけではなく、技能実習生を取り込んで、利用者数の確保に努めることが重要と思う。

【館下委員】 目標値設定について、人口減少を加味している旨を、記載いただいているが、横ばいもしくは増加、のような整理は可能か。将来的な実態を踏まえた目標値設定は良いと思うが、補助申請が円滑に進まない可能性が懸念される。

【事務局】 現状維持となるような目標値設定に変更する。

5. 閉会